

# 零の行路



長久手市郷土資料室  
長久手合戦400年を記念し昭和60年開室。長久手合戦、市の民俗資料を展示。  
長久手市郷土資料室内  
ながくて観光交流サポートセンター

## この行路の見どころ

### 岩崎城歴史記念館

岩崎城の戦いなどを紹介

岩崎城歴史記念館は戦国時代初期に築城された岩崎城の跡地に建てられた博物館。館内では小牧・長久手の戦いの一戦である岩崎城の戦いや岩崎城主丹羽家の歴史を紹介。また岩崎城址公園内には空堀や土塁、櫓台などが残り、今でも戦国時代の城を体感することのできる貴重な場所になっている。

日進市岩崎町市場67 tel 0561-73-8825  
開館時間9時～17時、入場無料、月曜および年末年始休館。

「目指すは岡崎!」と進む名将池田勝入率いる秀吉軍が、岩崎城の戦いの後、翻って追撃する家康軍に挑む。両軍が死闘を繰り広げた長久手の地を結ぶ道をたどる。地元では「落ち武者街道」と呼び、戦いの激しさを伝える伝説が語られていたらしい。

ほかにも寺の行路、武に行路、参の行路があります。ぜひ、全ての行路をお訪ねください。

- 長久手合戦史跡
- その他の史跡
- 神社
- 仏閣
- 名鉄バス(中央線)バス停
- バスのルート
- コンビニエンスストア
- 屋外トイレ
- おすすめコース

## 合戦史跡 スポット

- 一 長久手城址** **国指定史跡**  
長久手城主加藤忠景は長久手合戦で活躍し討死したが、加藤氏の守り本尊を安置した長光庵という尼寺(現存せず)があり、13体あった木造観音像の1体が今も残って城址の観音堂に納められていた。(「香流川物語」より抜粋)
- 二 血の池公園**  
毎年4月頃、鉄のソブで赤く染まった池についた名前が血の池公園(池は埋められた)。公園内には、長久手合戦の折、武器を洗う時に武将が鎧をかけたという「鎧掛の松(現在は3代目)」がある。
- 三 勝入塚** **国指定史跡**   
秀吉方の武将、池田勝入(恒興)戦死の地と伝わる。

- 四 武蔵塚** **国指定史跡**   
森長可の戦死の地と伝わる。官名にちなんで武蔵塚と呼ばれる。
- 五 庄九郎塚** **国指定史跡**   
池田勝入(恒興)の長男之助(幼名庄九郎)戦死の地と伝わる。
- 六 岩崎城**  
岩崎城は戦国時代初期に織田信秀に築城されたとされる平山城。尾三国境の城として丹羽家が城主を務めた。天正12年小牧・長久手の戦いでは三河中入り軍の池田隊と戦になり、岩崎城代丹羽氏重はわずかな兵とともに奮戦するが、討ち死。城も落城した。しかし、ここでの足止めがその後の長久手の戦いが起こるきっかけとなり、長久手では家康が勝利することになる。



ながくて観光交流サポートセンター(郷土資料室内)にて、販売しています(1枚 ¥300)。  
 このマークのついた史跡のカードです。(各史跡での販売はありませんのでご注意ください)。

長久手合戦については、  
長久手市観光交流協会HP  
「長久手合戦ガイド」をご覧ください。